



令和5年度茅ヶ崎市立浜之郷小学校
学校評価アンケート 結果

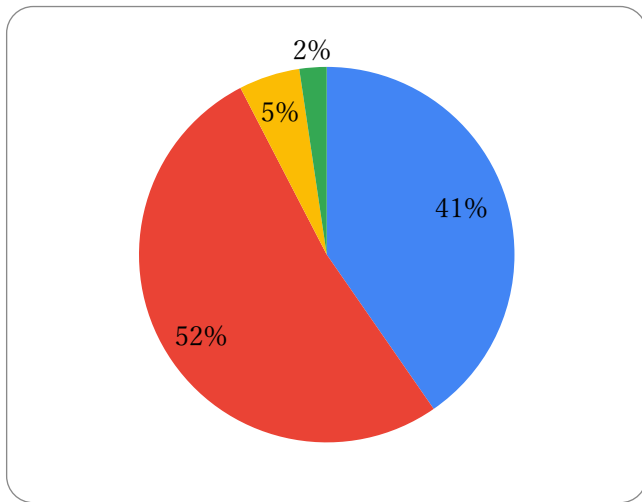
《 この調査報告の見方 》

- 4件法で作成した設問への回答を、対象者ごとの円グラフに色分け表示しています。
- 選択肢は次のとおりです

- ①あてはまる
- ②どちらかというにあてはまる
- ③どちらかというにあてはまらない
- ④あてはまらない

- 令和5年度は学校教育の重点目標・努力目標ごとに設問を精選し、そこからうかがえることを「考察」として短くまとめました。また、児童へのアンケートは別様式でのアンケートをほかにも行っていること、教職員へのアンケートは肯定的な回答が当たり前となること、それぞれの認識のずれに大きな意味を見出せないことから、保護者のみのアンケート実施としました。
- 皆様の声を学校運営に活かしてまいります。

設問1 学校は、学校教育目標である「支えあう・聴きあう・学びあう」学校づくり・授業づくりに努めていると思いますか。



【考察】

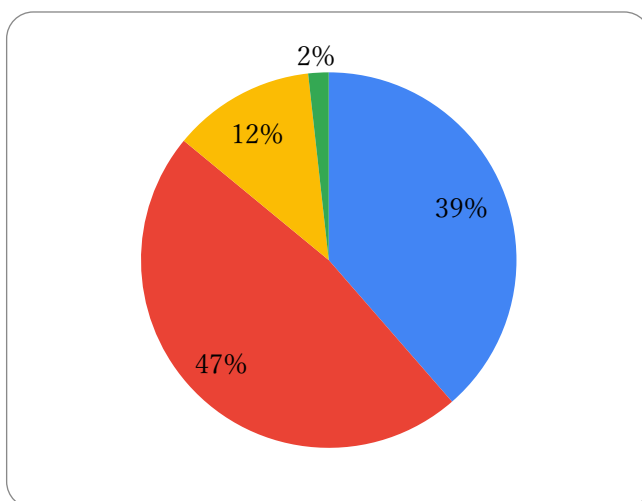
肯定的評価が92.4%と、学校教育目標「支えあう、聴きあう、学びあう」については、保護者の皆様と共有できていると判断しています。この学校教育目標を実現するために、さらに学校づくり、授業づくりに励んでまいりたいと思います。また、教職員内の理解の徹底とさらなる意識化が課題ととらえています。

【評議員意見】

令和6年度、支援級開級にあたり、通常級や支援学校との交流をより慎重に、丁寧に進めていくことで、学校教育目標の「支えあう」をより実感することができるのではないかと。

最初が肝心である。地域の大人たちも多方面でつながる必要を感じる。

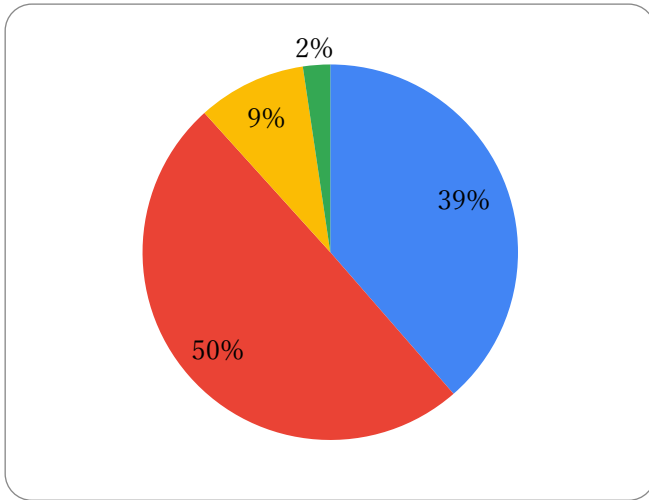
設問2 子どもたちは、授業を通して学ぶ喜びを感じられていると思いますか。



【考察】

「どちらかというとはまらない」の割合が12.3%と高めなのが気がかりです。学校の授業そのものが「わかる、できる」ことも大事にしながら、その教科ごとの本質に触れる機会の充実を図ってまいります。

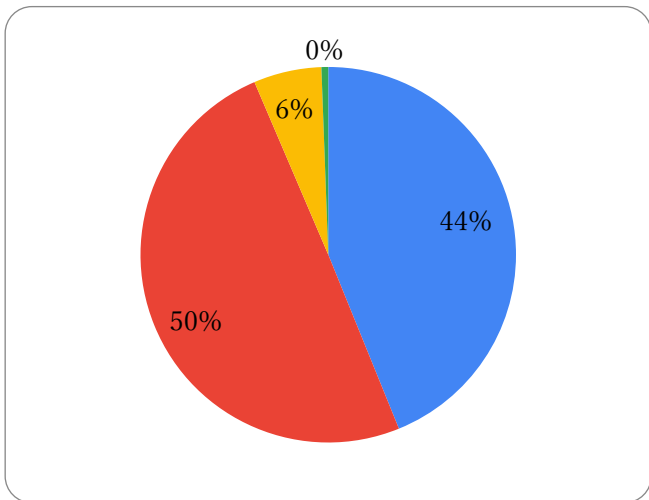
設問3 学校は、教育活動全般を通して、子ども・保護者・地域の願いや期待に
 応えるよう努めていると思いますか。



【考察】

「どちらかというにあてはまる」が半数を占め、コロナ禍で途絶えていた地域や保護者の皆様が学校にお越しいただく機会が少しずつ増えてきた評価ととらえています。次年度に向け学習参加、授業参観、学校公開週間など皆様ご来校いただける機会を少しずつ充実させ、学校だけでなく多くの大人が力を合わせて子どもを育てる環境づくりを目指したいと思います。

設問4 学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てるよう

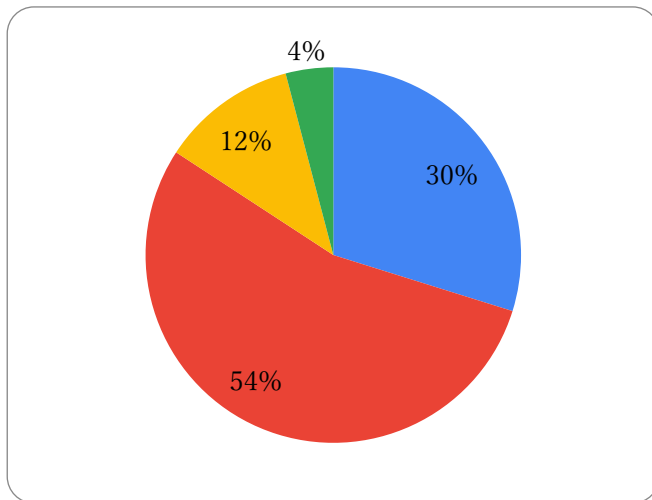


努めていると思いますか。

【考察】

肯定的評価 93.6%と命や心、社会のルールを育てる取り組みを高く評価いただいているのは大変うれしいことです。これらの指導をさらにすすめて、トラブルが起こる前の指導を充実させることで、トラブルを未然に防ぐ手立ての一つしていきたいと思います。

設問5 学校は、子どものことについて相談しやすい場所になっていると思いますか。



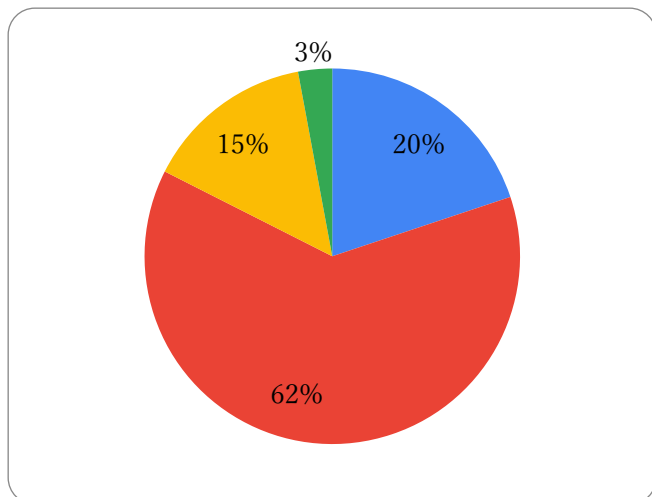
【考察】

「あてはまらない」と厳しい評価が一番多い設問になります。担任を始めとして、いつでも子どもたちの相談は受け付けています。困ったことがあったら、いつでもだれでもどこでも、学年の教員、心の教育相談員、養護教諭、管理職などにも相談していいんだよとお伝えいただければと思います。学校においても同様の周知を子どもたちにも職員にも徹底してまいります。

【評議員意見】

今回のアンケートでは保護者のみの調査だが、この設問については児童からの意見も聞きたい。

設問6 学校は、いじめ防止等の取り組み（未然防止・早期発見・早期解決）について、適切に行っていると思いますか。



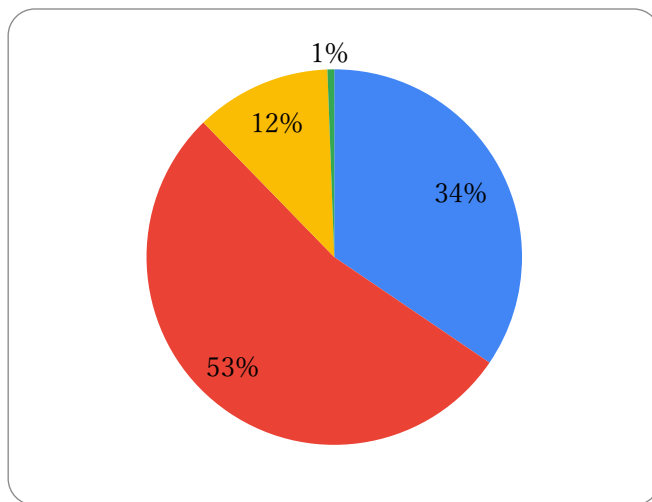
【考察】

否定的評価が 17.5%と厳しい評価が最大の設問です。また、「どちらかというにあてはまる」も最多です。いじめにかかわっていないと思われる方が多くいる反面、いじめに関係したところのある方々のご不満、ご不審ととらえています。上記、相談体制の充実とともに、より早期発見、早期解決に向けて支援体制を充実させてまいります。

【評議員意見】

学校教育目標の「支えあう」にあるように、子どもたち自身が「支えあう」ことが大事。教師がすべてを把握することは実際に難しい。子ども同士がお互いに注意したり、カバーしあう関係づくりが大切。

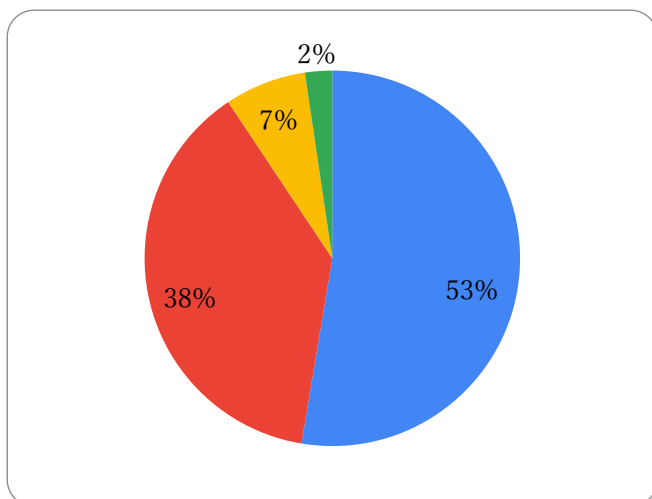
設問7 子どもたちは、学校や地域（登下校や放課後・休日）で、安全に気をつけて過ごしていると思いますか。



【考察】

肯定的評価が 87.7%と高めの設問ですが、地域の皆様からのご指摘がたびたびあることが実際です。「石けりをしながら歩く」「畑や駐車場に無断で入る」「注意してもやめない」などのお声がありました。学校でも指導してまいりますが、ご家庭でもお時間の許す限り登下校の見守り等にご参加いただくと助かります。

設問7 学校は、おたよりやホームページ、グーグルクラスルームなどのWebコンテンツを通して、家庭や地域への情報発信に努めていると思いますか。



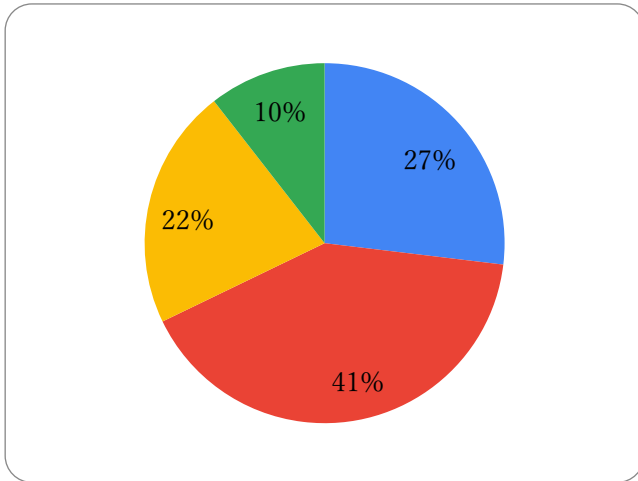
【考察】

文科省や茅ヶ崎市の支援もあり、一人一台のiPad 端末が実現しました。今年度はクラスルームを活用してデジタルで学校からの情報をお伝えする試行を行いました。次年度以降もさらにさまざまな情報を積極的にICTを活用して皆様にお伝えできるよう努力してまいります。また、同時にペーパーレスの方向でお便り等のデジタル化にも取り組んでまいります。

【評議員意見】

今後も進めるべき。地域に対しても積極的に発信を強めてほしい。

設問8 子どもたちは、自らすすんで家庭学習に取り組もうとしていると思いますか。



【考察】

肯定的評価が 67.8%と最も低い設問となりました。家庭学習というとドリルやワークなど紙に書くイメージが強いと思われませんが、それだけでなく博物館や水族館に行く、釣りやキャンプに出かける、お買い物をして料理をする、スポーツに挑戦するなど充実した体験も学習そのものと考えます。ぜひ子どもたちと楽しい体験を一緒に楽しんでいただければと思います。豊かな経験は確実に学力につながります。

設問9 子どもたちが、学校での学び（生活）を通して、成長したと思うところはどこですか。（掲載は抜粋）

- 子ども同士で教えたり、教えられたり、自分以外を大事にできるようになってきたと思います。
- 自分の得手不得手を理解し、苦手なことには少しずつ挑戦したり、得意なことは思いっきり楽しむことができている。その緩急が自己を肯定して高めることにつながっています
- お米作りを通して先生以外の大人と触れ合うことで話し方がきちんとしてきたところ。
- 勉強も出来ることが増え成長したと感じますが、学校生活においても周りに気を配って生活していることを色々な先生から耳にして家では見ることがない姿なので見えないところで成長しているんだなと感じました。
- 授業参観などの時に、自分の意見をたくさん文字にして書いているところや発表しているところを見て成長を感じました。
- 学校での話をよく聞いていて、大切なことを教えて頂いた時は、家庭で話してくれる。学校で先生とお友達と学びながら生活をする中、まわりをよく見て考える大切さや、優しい気持ちが成長を感じる。
- 自分の身の周りのことなどできることが増え、自ら進んでやる姿勢も見られるようになりました！
- 上級生になり、下級生と一緒に遊んであげたり面倒を見るようになったこと。

- 得意な事、不得意な事が人によって違うこと、皆で助け合うという事を理解してきたように思う。興味関心のある事を自分から本などで調べようとするようになったと思う。
- 学校という学びの場があることによって、刺激を受けて、学ぶ意欲が出てきている。そして、授業で学んだことを覚えて帰ってくることもある。友達と楽しく過ごせているようだ。先生には気にかけて頂けていることに感謝します。
- ルール遵守、人を思いやる気持ちを集団行動の中で理解してきていると思います
- 友達との会話が出来るようになり家でも学校での出来事を話すようになりました。楽しく学校に行けるようになったのが成長だと思います。
- 学校で習ったこと、経験したことを家でもやってみたいという興味を示すようになった。
- 自己主張ができるようになってきた。新しい経験を沢山して知識がついてきた為、自身で考え行動する力が身につけてきたと思う。できれば地域活動をもっとしてもらいたい。
- 何か問題が起きたとしても諦めることなく自ら解決に向けて考えることができるようになりました。また物事をポジティブに捉え、自分の事も周りの人の事も大切に出来るようになりました。
- 登下校時の安全を守り、助けてくれた人には必ずお礼を言えるようになった。
- 自発的に行動することが増えたように感じます。先生やお友だちに感化されている部分も多いように感じます。これからも本人なりに考えたり行動していくのを家庭でもサポートしながら成長してほしいと思います。
- 自主的に行動することが当たり前と思うこと、逆に言えばそうでないことが恥ずかしいことだと感じるようになったこと。
- 友達との関係性について、行きつ戻りつしながらも成長している
- 陰で努力してもみつけてもらえないので、自らアピールして発信する力。一人で問題解決をする、不満を解消する力
- まだあまり成長を実感できていません。むしろ幼稚園の時の方が学習に対する姿勢や態度が良かったように思います。
- わからない所、興味のもてない事があるとすぐに寝てしまう。起こしても貰えず置いていかれてしまう。成長できずいる。

【評議員意見】

これだけ、保護者がわが子の成長に目を向けられることが素晴らしい。できないこと、わからないこと

も当然たくさんあるだろう。しかし、自己肯定感を高めるには、一芸に秀でることも必要ではないか。